

## 加賀中ブロック大会開催要綱

- 開催趣旨 学童が野球を通して、チームワークと心をひとつにし、力をあわせて夢と憧れに向かい、健全で豊かな心身を育むための大会とする。
- 主催 石川県野球協会  
主管 石川県野球協会（学童部）白山支部（白山市学童野球連盟）  
共催 石川県学童野球連盟・野々市市学童野球連盟・能美学童野球連盟  
後援 白山市・北國新聞社・石川県野球協会白山支部
- 大会日程 2025年 5月 4日（日・祝） : 1回戦  
5日（月・祝） : 準決勝戦  
6日（火・振） : 三位決定戦・決勝戦  
10日（土） : 雨天予備日①  
11日（日） : 雨天予備日②
- 開会式 5月4日（日・祝）午前8時00分 白山郷公園 野球場  
（白山市鶴来大国町口125）  
※ 出場チームは、午前7時45分までに集合して下さい。（プラカード持参）  
※ 入場行進あり。前年度優勝・準優勝チームの賞典返還あり。  
※ 大会当日雨天の場合は、隣接の白山郷公園・武道館で開会式を行います。
- 試合会場 白山郷公園 野球場（全日とも）  
※ 雨天順延は午前7時に決定し、出場チームに連絡します。
- 参加チーム 白山支部（4）・野々市支部（2）・能美支部（2） 合計8チーム
- 競技方法 2025年公認野球規則及び全日本軟式野球連盟「少年野球（③学童部）に関する事項」並びに一部、白山支部のローカル・ルールを適用し、試合球は公認J級とする。  
全日本軟式野球連盟投球制限ガイドライン並びに申告敬遠を適用する。  
6回戦制、制限時間1時間30分（時間優先）。一般用ホームベースを使用。
- 表彰 優勝・準優勝・第三位の3チーム
- 抽選会 4月29日（火・祝） 18時00分～  
白山市 松任総合運動公園 体育館 1階 集会室  
（白山市 倉光4丁目22 TEL 076-276-4844）  
※ 抽選会終了後、3支部合同会議を行います。
- 参加費 1チーム 23,000円（抽選会当日に持参願います。）
- 賞典返還 優勝 松任若体スーパースターズ（白山支部）  
準優勝 辰口童野球クラブ（能美支部）

## 加賀中ブロック大会規定

1. 試合は、2025年公認野球規則及び全日本軟式野球連盟「少年野球（③学童部）に関する事項」及び一部、能美支部ローカル・ルールを適用し、試合球は公認J級とする。
2. 監督・コーチは、20歳以上の成人とし、チームと同一のユニホームを着用すること。また、監督の背番号は30番、コーチは29番と28番とする。なお、選手の背番号は0～27番、31～99番とし、主将は10番とする。
3. 選手登録（ベンチ入り）は、1チーム25名までとし、選手以外のベンチ入りの大人は、監督、コーチ2名、スコアラー1名を含めて5名以内とし、監督及びコーチ以外はユニホームを着用しなくてもよい（但し、自チームの帽子着用のこと）。
4. 打順表の提出は、第1試合では試合開始30分前に、第2試合以後は当該試合開始予定時刻の30分前に2回終了時に監督と主将が大会本部に提出し、原簿と照合ののち、球審立会の上、攻守を決定する。打順表は5部提出すること。  
（打順表は、本部1、アナウンス1、記録1、相手チーム1、自チーム1）  
先攻・後攻は、トスで決定する。定刻時間に指定場所に来ないチームは、棄権とみなす。
5. 試合は6回までとし、時間は1時間30分（時間優先）とする。  
1時間30分を経過した時点で規定回に達していない場合、均等回終了をもってゲームが成立したものとする。
6. 試合終了後（6回終了時または1時間30分経過後の均等回終了後）、同点の場合はタイブレーク方式で試合を決する。

### 【タイブレーク方式（特別ルール）】

#### 【特別延長戦（プレーオフ）規定】

規定回終了時又は制限時間を越えた時点でのインニング終了時において同点の場合は、直ちに特別延長戦を行う。尚、決勝戦を除き、特別延長戦は最長2インニングまでとし、決着しない場合は抽選とする。抽選方法は、本部指示にしたがうこと。

#### 【特別延長戦（プレーオフ）競技方法】

両チームとも無死1,2塁とし、打順は前インニングの継続打順とする。この場合、走者は、前インニングの最終打者を1塁走者、2塁の走者は順次前の打者とする。  
尚、代走・代打を送ってもよい。また、投手・野手を交代させても何ら差し支えない。  
ただし、一度出場し交代してベンチに下がった選手は出られない。  
特別延長戦（プレーオフ）は、制限時間なしとする。

7. 点差によるコールドゲームの成立は、5回終了以後7点差とし、降雨の場合は5回終了時点で試合は成立するものとする。  
（コールドゲームに関して決勝戦・第三代表決定戦は除く。）

8. 2025年公認野球規則 5.07(c)の投手の遅延行為のルール（ピッチクロック）は本大会では適用しない。ただし、速やかな投球動作に入ること、打者も速やかに打撃態勢することで、試合進行の遅延行為ととられないよう留意すること。
9. 2025年公認野球規則 5.11(a)の指名打者ルールを適用する。  
ただし、学童部は二刀流選手を採用しない。
10. 試合終了後、各チームはベンチ内を消毒する事。
11. ベンチは、抽選番号の数字が小さい方が1塁側とする。
12. 試合中における抗議権や選手交代は、監督又は当事者に限り認めるが、試合進行の迅速化に協力すること。
13. 打者、次打者、走者及びランナーコーチは、ヘルメットを必ず着用しなければならない。また、捕手は控えの選手も含めて、ヘルメット、マスク、プロテクター、股間用保護具（ファウルカップ）及びレガースを必ず着用しなければならない。
14. 試合中の手袋は白又は黒のみ許可する（ツートンは不可）。また、リストバンドは原則禁止とする。ただし、何らかの事情で包帯や絆創膏等を使用したい時は、大会本部に申し出ること。必要に応じて認めることもある。
15. グラウンド整備や試合の進行は、学童部白山支部運営委員が責任をもって行う。
16. 野球用具は、全日本軟式野球連盟が公認したものであること。
17. 各試合の選手登録表提出後は、選手の変更及び背番号の変更は認めない。
18. シートノックは後攻より5分間行う。ただし、天候等の事情により行わない旨を大会本部より指示することがある。また、当該チームが、当日2試合目となる場合にはシートノックは行わない。
19. 投手の投球制限については、肘・肩の障害防止を考慮し、1人の投手は1日70球以内を投球できる。試合中に70球に達した場合、その打者が打撃を完了するまで投球できる。（全日本軟式野球連盟 投球数制限ガイドライン適用）  
**※ チーム監督（守備側）からの故意四球（申告敬遠）を導入する。**
20. その他の事項については、審判員の指導に基づき、試合を遂行する。
21. 応援席の整理整頓は、当該使用チームが責任をもって当てること。
22. 野球場施設等の整理整頓は、試合当日の最終試合における両チームが責任をもって行うこと。また野球場管理棟の清掃については、最終ゲームの勝利チームが行うこと。
23. 開会式は、ユニホームを着用した登録選手以外の選手の参加を認める。
24. ベンチ内には缶入り飲料は持ち込みを禁止し、その他についても、ベンチ後方にて飲料

すること。

25. 試合中は、当該チームから2名以下の放送係を出して、試合進行に協力すること。

26. 審判への給水について

- ① 給水は、本部席・運営部にて行う。
- ② 給水を行う回は、試合開始前に審判と本部席で協議し決定する。
- ③ 給水は一塁側のグラウンドの外で行い、グラウンド内に入らない。
- ④ 給水を行う時には、給水のアナウンスを放送する。

27. 開会式会場に入場する際（開会式を含む）、各チームの指導者・選手、本部席関係者は、基本的な感染対策に留意すること。マスクの着用は任意とする。

試合上の注意事項 別紙参照

## 試合上の注意事項

- ① 大会趣旨を十分に理解し、目に余る行為をしないこと。
- ② バット・ヘルメット・ボール等は、グラウンド内に置かないこと。
- ③ 投手の滑り止め（ロージン）は、各チームで用意すること。
- ④ 各回の先頭打者、次打者及びランナーコーチは、ミーティングに参加しないで直ちに定位置に着くこと。
- ⑤ ラフプレイは、絶対に許されない。特に、足を高く上げてのスライディングは危険であるため禁止する。
- ⑥ 攻守交代は、元気よく全力疾走で行うこと。
- ⑦ 野手は、走者に対して、どの塁にかかわらず、一角をあけること。
- ⑧ 内野手の転送球は、試合進行の関係から、原則として、これを行わない。
- ⑨ 指導者の選手に対する暴力的行為や指導者としてのあるまじき行為は、許されない。
- ⑩ 応援について、2025年全日本軟式野球連盟 競技者必携 P8 の記載に準じる応援を認める。ただし、電子機器を使用した応援は禁じる。なお、試合会場によっては、周辺の住環境の配慮から、鳴り物、うちわ及びメガホン等の使用についても禁止することがある。
- ⑪ 個人を攻撃するヤジは、絶対に行わない。ベンチからだけでなく、応援席もこれに倣うこと。
- ⑫ ショートの守備 二塁ランナーへのブラインド禁止。（牽制時等）
- ⑬ ホームランを打った後の走者に対して走塁中の身体への接触の禁止。
- ⑭ 「一・三塁への牽制時の偽投」並びに「二段投球モーション」等の禁止。  
（警告はせずに始めからボークの判定を行う。）
- ⑮ 監督（30）コーチ（29）（28）、及び登録選手以外は、グラウンドに入らないこと。
- ⑯ 試合前のアップについて、トスバッティング、フリーバッティング、バント練習などバットを使用するアップは禁止します。  
第一試合のチームで早めに球場入りしアップを行う場合は、アップシューズで行い、シートノック前に速やかにスパイクに履き替えて下さい。  
第二試合以降のチームは、アップ時間が非常に短いので、スパイクでアップすることを許容する。  
但し、大会の円滑な進行のため、シートノックの準備または試合開始のアナウンスが入ったら直ちにアップを終了し、速やかにベンチに戻って、次の行動の準備をすること。
- ⑰ 次試合チームのグラウンド内のブルペン使用は許容しない。
- ⑱ 開会式の行進は、アップシューズまたはズックを履くこと。
- ⑲ 投手または野手は、大会本部の承認を得ず、通常サングラスの使用を認めるが、各チームの適宜対応とする。また、野手はサングラスを防止の庇の上にのせることを認める。ただし、全てのグラウンド入場者は、ミラーサングラスの着用は不可とする。

以上